

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」浄心校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の療育のため、お子様1人1人に合ったプログラムで支援を行っています。	支援後の保護者様とのフィードバックやモニタリング等でお子様の特徴や課題を丁寧に聞きしています。	フィードバックにお越しにならない保護者様に、可能な範囲で家族支援をご案内しています。
2	学習のサポートが中心ですが、塾のような学校の授業の先取りではなく、お子様に合ったところまで戻って理解・定着に繋がるよう丁寧に支援を行っています。	無理に学校の進度に合わせるのではなく、あくまでお子様の理解に沿って支援を行っています。	一度達成した課題も、時間をおいて再度確認の時間を取るようにしていきます。
3	勉強だけではなく、お楽しみ課題として時間の最後にお子様の好きな遊び（アナログ）を取り入れ、意欲や達成感を育みます。また将来に向けて、社会性や生きる力としてのSSTも常に行っています。	遊びをとおして学ぶことを意識し、限られた時間の中ですが指導員と楽しく遊ぶことを心がけています。挨拶やマナー・ルールなど将来必要な人との円滑なコミュニケーションスキルも向上できるように支援しています。	同じ時間帯でのお友達同士で、一緒に小集団で遊べるようにできる限り設定していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防音の個室がないので、周りの声が聞こえてしまうことがあります。	事業所の建物の構造上の問題になります。	
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」浄心校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 52

回収数 37

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	3	0	0	間取り的に難しいかもしれないがしっかり個別で区切れると更に良いのかと思うもう少し、スペースが広いと良い。	事業所のスペースの問題もありますが、できる範囲で調整いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	1	0	0	今年度入ってから、人の入れ替わりが激しいので、長期的に子をサポートしてくれる職員が増えると嬉しいです。	ありがとうございます。長期的に支援できる職員の育成に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	0	2		療育室はカーテンなどで仕切り、お子様にわかりやすいよう環境整備をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1	0	0		お子様の課題やスペースに合わせプログラムを組んでいます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0	とても理解してこどもに合った支援をやって下さっている 子供がやる気をもって勉強に取り組めるように、子供の特徴に沿ったやり方をしてくれています。	ありがとうございます。モニタリングやアセスメントでお子様に合ったプログラムをたてて支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1	0	0		事業所が公表している支援プログラムに合わせて支援を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1	0	0		保護者様のご希望もお聞きした上で、お子様に合った計画を作成しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1	0	0		必要に応じて各機関とも調整を図り、ご家族様・お子様への支援に必要な項目を設定した計画を作成しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	5	0	2		モニタリング時期以外にもお子様に変化があればプログラムを変更して支援しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	20	13	特に希望していない	個別支援なのでなかなか地域の他のお子様との交流はできませんが、イベントなどがあればご案内をしております。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	1		契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明させていただいています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	2		個別支援計画作成時に、本児の目標や支援内容についての説明をさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	6	8	15		支援後のフィードバック時や家族支援時に提供しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	35	2	0	0		普段からお子様の状況について保護者様と共有できるようお話ししております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	4	1	2	いつも子供や親の私のことを気遣ってくれて話を聞いてくださるので、とても気持ちがかたくなります。	ありがとうございます。支援後のフィードバック時や家族支援時に子育てに関する助言等行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	0	0		お子様や保護者様に寄り添った支援を心がけております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	7	15	13		現在、開校日等の都合上保護者会は開催しておりませんが、ご要望に応じて検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	1	6		ご希望があれば事業所内だけではなく各関係機関とも連携して対応し、契約時や計画のご説明時にお伝えいたしております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	0	0	1		わかりやすくお伝えするよう、絵カードやプリント・印刷物などを用意し意思疎通のための配慮を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	5	0	7		定期的にSNSにて予定や連絡を発信しています。また毎年ホームページに自己評価結果を掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	3		個人情報の取り扱いには十分留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3	0	10		有事の際の各マニュアルは策定しており、契約時や校舎内掲示にてご案内しております。また訓練も定期的に実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1	0	11		毎月行っており、報告を校舎内に掲示しております。訓練の日時のタイミングでご案内させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	5		事業所内でのお子様の安全については安全計画を策定し、十分に安全を確保したうえで支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	0	14	親も一緒に行っているし、怪我や体調不良になった事がないので分からない。	契約時や安全研修のタイミング等で折に触れてご説明を行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	1	0	0		お子様が安心して通える場所のひとつになれるよう善処いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	6	0	0		楽しい支援が提供できるよう今後も努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2	0	0	いつもありがとうございます！ 兄弟で利用しているので、送迎の負担を減らすため同じ曜日・時間にしてほしい	ありがとうございます。曜日等は調整で次第順次ご案内させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」浄心校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を遵守しています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		カーテン等でスペースを仕切り個室で集中できるようにしています。段差がありますが、声掛けや見守り等、注意を払い安全に配慮しています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		スペースに合わせプログラムを組んでいます。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室で落ち着いて療育を受ける環境が整っています。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日次・週次で職員参加のミーティングを実施しています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日次・週次のミーティング以外にも随時話す機会を設けています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、利用者・社内の二者評価を取っております。	第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施してまいります。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		1カ月の初任者研修を実施し、その後も全ての指導員に継続的に研修を行っています。					
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		定期的に見直しを行い、支援プログラムを作成、公表しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を開いて、関わる職員全ての共通の認識のもとに計画が作成されています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿って活動プログラムを組み、共有のもと支援を行っています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や、統一したアセスメントシートからこどもの状況を確認しています。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って活動プログラムを組み、支援を行っています。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子様の事例を共有・議論するケース検討会を開催しプログラムの立案に繋げています。					

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	お子様一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらせるのではなく、お子様が自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境を作ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定して作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行い連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎回指導記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的また必要に応じてモニタリングを行い、計画見直し等検討しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	放課後等デイサービスのガイドラインに沿って支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	こどもが自分で決定して自発的に行動できるようにプログラムを立て支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しております。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程度で参画することが多くなっております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて各関係機関の方などと連携を取り、支援に反映する体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	各関係機関や保護者の方と情報共有や連絡調整を適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	移行支援としては現在はありませんが、相互理解を図っていきます。	必要に応じて移行支援として情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	必要に応じて各関係機関の方などと連携を取り、情報提供する体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域のイベントなどがあればご紹介させていただいています。	地域交流については、限られた支援時間の中での交流が難しいことからイベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりません。個々のお子様の状態に合わせて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援連絡協議会には会議や研修など積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアレントトレーニングについての情報提供を行っています。	支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスさせていただいています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時にお子様や保護者の方のご意向やご希望をお聞きして確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を提示して支援内容のご説明をさせていただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時にご相談に応じております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	支援後の遊びはきょうだいで一緒に遊べるようにする場合もあります。	現在、開校日等の都合上保護者会は開催しておりませんが、ご要望に応じて検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情やお申し入れについては迅速かつ適切な対応を心がけております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室内に活動内容やイベントのご案内を掲示するとともに、事業所のホームページで情報発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様・保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	開講当初、地域の民生委員の方をお招きし事業の説明をしておりました。	個人情報に配慮しつつ、教室見学の時間を設けることも今後検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、訓練を実施しています。実施報告をブログで発信したり、校舎内に掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、月に一度訓練をして、その結果や対応方法などを掲示しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントにて確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在食べ物の提供はいたしておりません。	全てのお子様について、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施して安全管理を行ったうえで支援を提供しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づき、運営規定などを通してご家族様に発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成し、職員間で共有・検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のマニュアルを作成し、研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な場合は、個別支援計画に記載し、保護者様にご説明して了解を得たうえで行います。	